

貸借対照表

平成30年12月31日 現在

丸山工業株式会社

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	267,087,379	【流動負債】	213,247,367
現金預金	144,647,852	未払金	134,646,659
受取手形	7,200,000	未払消費税等	5,666,300
完成工事未収入金	34,100,465	未成工事受入金	69,899,930
未成工事支出金	72,845,546	預り金	3,034,478
材料	1,482,618	【固定負債】	27,113,423
貯蔵品	2,032,535	長期未払金	16,756,880
前払金	1,478,733	退職給付引当金	10,356,543
未収入金	1,056,730	負債の部合計	240,360,790
未収法人税等	2,242,900	純資産の部	
【固定資産】	115,364,048	【株主資本】	142,090,637
【有形固定資産】	99,868,925	資本金	20,000,000
建物	15,717,842	利益剰余金	122,090,637
建物附属設備	727,275	利益準備金	5,000,000
構築物	2,511,768	その他利益剰余金	117,090,637
器具備品	829,493	繰越利益剰余金	117,090,637
土地	80,082,547		
【無形固定資産】	1,061,016	純資産の部合計	142,090,637
電話加入権	548,182		
ソフトウェア	512,834		
【投資その他の資産】	14,434,107		
投資有価証券	3,374,801		
出資金	300,000		
長期前払費用	95,000		
保険積立金	10,664,306	負債及び純資産合計	382,451,427
資産の部合計	382,451,427		

注 記 表

丸山工業株式会社

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は移動平均法による原価法によっております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 材料・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。
- (2) 未成工事支出金・・・個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。
- (3) 貯蔵品・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。

3. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産の減価償却方法は平成10年4月以降取得建物及び平成28年4月以降取得建物付属設備並びに構築物の定額法を除き定率法によっております。
- (2) 無形固定資産の減価償却方法は定額法によっております。
- (3) 長期前払費用の償却方法は定額法によっております。

4. 引当金の計上方法

- (1) 貸倒引当金は債権の回収可能性を検討し回収不能見込額がある場合に計上します。
- (2) 退職給付引当金は従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に対し中小企業退職共済及び養老保険等を考慮して不足額を計上します。

5. 消費税等の会計処理

消費税の処理は税抜き方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

41,658千円

有形固定資産の貸借対照表科目表示について機械装置及び車両運搬具はいずれも重要性が乏しいため構築物に含めて表示しています。

2. 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債務

176千円